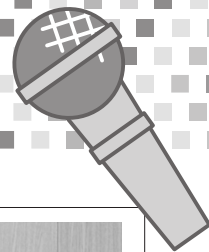


新規採用教員へのインタビュー



流郷 昌輝 りゅうこう まさき
県立東岡山工業高等学校 教諭
(令和5年度採用)

自己紹介

Q 県外の私立高校を退職し、岡山県の教員になろうと思ったのはどうしてですか？

私は、大学卒業後は県外の私立高校で5年勤めていました。いずれは生まれ故郷の岡山県で働きたいという気持ちがあり、担任していた生徒が卒業するタイミングで、岡山県に帰ることを決めました。岡山県では講師として1年間勤め、令和5年度から、高等学校教諭として採用されました。現任校には、高校生のときに教わっていた先生も勤めていて、嬉しく思っています。

Q Uターン就職の際、他の職業は考えましたか？

岡山県出身。
県外の私立高校に5年勤めた後、生まれ故郷の岡山県にUターン就職しました。
電気科1年生担任を務めています。

他の職業を考えたりはしませんでした。高校生の時に先生方が働く姿を見て、教員の仕事が楽しそうだと感じていました。私自身、人に何かを教えることが好きだったこともあり、教員という仕事に、ずっと関心を持っていました。大学では建築学を専攻していたので、大学卒業後の進路を教員と決めていたわけではなかったのですが、縁あって県外の私立学校で工業（電気科）の教員として勤務することとなり、勤務する中で教員の仕事のやりがいを実感し、引き続き岡山県の教員として働くことを選びました。

Q 教員の仕事のやりがいについて教えてください。

やりがいは、生徒と出来事や感情を共有することです。検定試験などの結果を一緒に分かち合い、今後どうするかを一緒に考えていくことができること

に、教員としての責任と喜びを感じます。生徒にとって、「話しやすく、大人として認めて信頼してもらえる先生」でありたいと思っています。

Q 電気科で教える魅力はどういったところですか？



実習の様子

電気は生活に欠かせないものであり、私たちの身の回りには電気がないと動かせないものがたくさんあります。しかし、電気は100%安全安心なものではなく、目に見えないために感電など事故の恐れもあります。

電気科では、こういった電気の良い面と悪い面の両面を、座学や実習を通して教えることができるのが魅力です。卒業後の進路先でも役立てる資格取得のサポートも行っています。

Q 働きながら教員採用試験の勉強をすることは大変ではなかったですか？

県外の私立高校を退職後、岡山県で講師として勤めながら試験勉強をしました。仕事をしながら試験勉強の時間を確保することは大変ではありました。筆記試験については、過去の採用試験問題を県庁まで閲覧（コピー）に行き、過去の試験問題や教科書を参考に勉強をしました。分からない問題は勤務校の先生方に教えてもらうこともありました。

面接や模擬授業、口頭試問に向けても学校の先生方に協力をいただき、練習を行いました。試験では、これまで教員として勤務していた経験を生かすことを意識して臨みました。

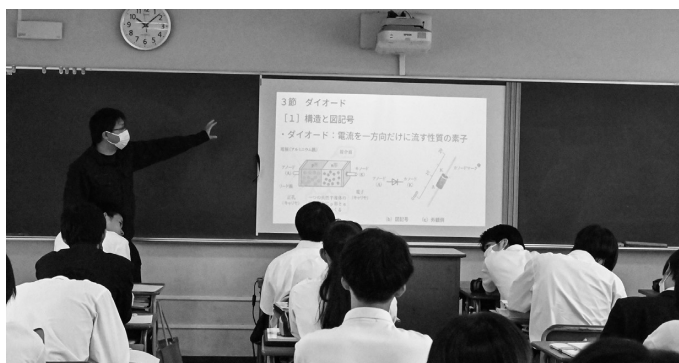
Q 生徒たちとの関わり方で大事にしていることはありますか？

現在、40人の生徒を担当していますが、40人という集団としてみるのではなく、一人一人と丁寧に関わることを心がけています。生徒それぞれ、考え方や経験には違いがあります。個々に適した指導をするためには、どのような子どもで、どのような指導が必要なのかを知ることが大事だと考えています。そのため、生徒の日々の様子には気を配っています。授業に行っている先生からも生徒の様子を聞き、指導に役立てるよう心がけています。



Q 育みたい生徒像はありますか？

私は生徒たちに、その場に即した行動ができる人になって欲しいと思っています。例えば、誰かが教壇の前に立つたら話をやめて前を向くことや、授業が始まる前は着席して待つことなど、周囲の状況や時間を意識した行動ができることです。現在、担任している1年生は入学してまだ2ヶ月ほどですが、聞く姿勢が良くなってきました。



今年度、新たにスライドを作成し、スライドを活用した授業のメリット・デメリットを検証しています

Q 働く中で大変だったことはありますか？

今年度は、1年生の担任のほか、校務分掌として、教務科と進路指導を担っています。複数の仕事が増えていることがあり、その時は大変さを感じます。生徒のことと自分のことで、優先順位を付けるように心がけています。状況を先輩教員に伝え、協力を得て取り組むこともあります。

仕事をする上で、自分一人で抱えこみすぎないことが大切だと感じています。先生方と情報共有をし、一人で抱え込みすぎないようにしています。現任校の学校の電気科には、先輩教員が7名います。先輩の教員は話がしやすく、いつも丁寧に教えてくださいるので感謝しています。

Q 部活動について教えてください。

バレーボール（男子部）の顧問を務めています。部員は17人います。授業では見えない生徒の顔や雰囲気を知ることができて、とても楽しいです。授業で

は静かな生徒も、部活では大きな声を出して練習に励む姿が見られます。



高電圧発生装置を用いて小さな雷を目の前で体験

教員の仕事のやりがいでも述べましたが、部活動における日々の出来事や感情を共有できることも顧問のやりがいの一つです。

こういったやりがいは、教員として働いてみて実感できたことでもあります。

少しでも教員という仕事に興味を持たれていましたら、ぜひ挑戦してほしいです。